

家庭菜園



園芸研究家 成松次郎

品種の選び方 野菜作りの第一歩

家庭菜園でおいしく、安全な野菜を作り、いろいろな野菜で食卓を豊かにしましょう。野菜の品種を選ぶときのポイントは、①その土地の気候や栽培時期に合っているか②病気や害虫に強く、作りやすいか③利用・調理に適しているか、などを見極めることです。販売農家では新しい野菜、品種の試作の畑として活用するのも良いでしょう。

【絵袋を確認】苗会社のカタログや絵袋には大切な情報がコンパクトに記載されています(図1)。

・作りやすさ、耐病性、耐寒性などの特徴

アブラナ科野菜では名前に「コラー」が付いていれば根こぶ病に強い品種、「YR」は萎黄病に強い品種です。病気に強い品種を選び、少ない農薬で作ります。また、冬の野菜では耐寒性、夏の野菜では耐暑性があれば安心です。

・発芽、生育適温など

発芽や生育に関する温度や発芽までの日数などが記されています。生育の短い品種を「早生」、長い品

種を「晩生」、これらの中間を「中生」と呼びます。タマネギの早晩性と貯蔵性には深い関わりがあり、早生品種は貯蔵性が低く、晩生品種は貯蔵性に優れています(図2)。ハクサイやスイートコーンでは

早晩性が80日や90日などの生育日数で示されることもあります。

【作型図をチェック】地域で定着している品種を調べたりしてみましよう。このような品種と新しい品種を作り比べてみると、わが家に適した品種選びができます。また、栽培カレンダー(作型図)に沿った園芸作業を行います。

・ミニ野菜

密植ができ栽培期間が短く、作りやすい品種が多いので、家庭菜園向きです。ハクサイ、カボチャ、カリフラワー、ダイコンには、食味の良い品種がたくさんあります。

・新顔野菜に挑戦

未知の野菜には作る楽しみと食べる楽しみがあり、食卓での会話も弾むでしょう。イタリア野菜には話題の品種がいろいろあります。

・機能的野菜に注目

赤、黄、紫などの色素には健康に良い機能があるといわれています。

図1 絵袋の表記(例)

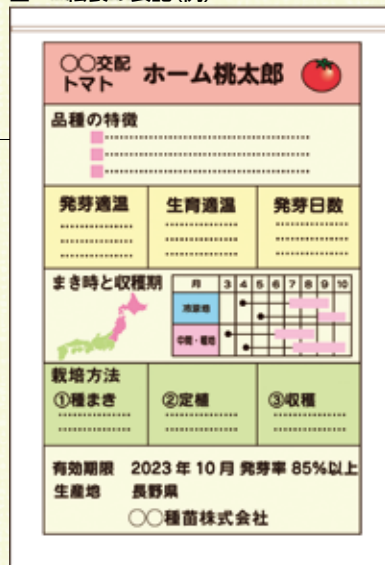
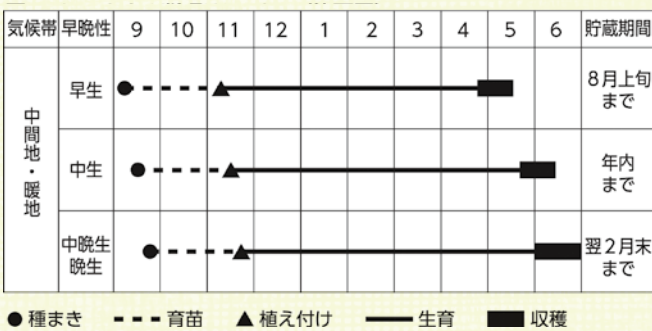


図2 タマネギの栽培カレンダー(作型図)



リコピンの多いトマト、ベータカロテンを多く含むニンジン、ケルセチンに加え、アントシアニンを多く含む赤タマネギなどがあります。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

日本の「農」と「食」を学ぶ

●日本農業検定事務局

ニンジンの問題

ニンジンの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 冬季収穫の場合は根首部が露出すると凍害や霜害が起こるので、中耕を兼ねて根首部に土寄せする。
- ② 根の直下に濃い化学肥料や未熟堆肥があると岐根になりやすいので、完熟した堆肥を使いしっかりと耕すことが大切である。
- ③ 1回目の間引きは葉数が7、8枚になってから行うと根の形が良くなる。
- ④ 収穫後の保存は、葉を根元から切り落とし、新聞紙に包んで冷蔵庫に保存すると良い。

解答

正解は③です。

解説：ニンジンの間引きは2、3回に分けます。1回目は葉数2、3枚のときに行い3cm間隔に、2回目は葉数4〜6枚のときに行い12cm間隔にします。間引きが遅れると根の形が悪くなるので、葉数6枚目までに終わらせます。

収穫期が冬季の場合には、凍害や霜害で品質が落ちないように、露出した根首部に土寄せを行います。根が複数の股に分かれる生理障害である岐根が発生しないように、完熟した堆肥を使い、しっかりと耕します。また、根に割れ目が生じる生理障害の裂根が起きないように適期に収穫します。収穫後は葉を根元から切り落とし、新聞紙に包んで冷蔵庫に保存しましょう。



『新版日本の農と食を学ぶ 中級編』(100ページ)より